# 辺野古への普天間基地移設問題

## ～沖縄の珊瑚の海を破壊する米軍基地は要らない～

普天間基地移設問題で、今、鳩山政権が揺れている。大手メディアやテレビ解説者等は、米国の圧力に屈し、日米関係が危機に瀕しているとして、鳩山首相の指導力のなさをなじり、沖縄県民の気持ちを無視して、今の段階では、日米合意による辺野古への移設が最も適当だとして、ごり押しする論調が目立つ。

1月24日行なわれた、沖縄県名護市長選挙では、普天間基地の名護市辺野古への移設に反対していた新人の稲嶺氏が当選した。移設反対の市長は初めてで、これまで条件付ながら容認する市長が続いていた。この選挙結果を受け、普天間基地の辺野古への移設案がいよいよ厳しくなってきた。

1・30集会で発言する社民党　福島党首

ところが、平野官房長官は「国家の安全保障の問題だから、一地方の選挙結果に左右される事ではない」「選挙結果を斟酌しない」旨の発言をした。

この民意を踏みにじる発言に対して、沖縄県民を始め、普天間問題に関心を寄せる全国の人々の非難が集中した。

今、鳩山政権ではこの問題で大きく揺れている。ゼロベースで検討し、5月までには決着するとしているが、政権内ではさまざまな思惑や勝手な意見が飛び交っている。

米国側は自公政権時代の06年に日米合意した辺野古沖への移設が最善としているが、米国がこの案にこだわる背景は、辺野古移設が駄目になった場合、〝米軍への思いやり予算など〟大きなツケを日本側に求める腹づもりがあるといわれている。

また、岡田外相は、1日「普天間のほかになければ今のままということもあり得る」との見解を示した。しかし、普天間移設の原点は、市街地に隣接した飛行場で「世界で一番危険な基地」であることや、住民の生活被害の除去である。移設が暗礁に乗り上げて「普天間」が固定化されるのは問題外の話しである。

珊瑚で囲まれた辺野古の青い海を潰し米軍基地にしてどうするのか。この貴重な自然を、基地を作るために破壊すればもう二度と元に戻すことは出来なくなる。

# 主張

去る1月24日、今年も清水で袴田事件の再審を求める集会があった。

現在、袴田事件は第2次再審の中立て中で、今回、新たな証拠は事件1年後に味噌ダルから見つかったとする犯行時の血染めの衣類に関するもの。

警察提出の写真ではシャツの血痕がはっきり分かるが、救援会で1年間血染めのシャツを味噌ダルに漬けた実験をしたところ、味噌の色に染まり血痕は判別できないものであった。裁判官の認定間違いで無ければ偽造である。

この集会では、足利事件で犯人とされた菅家利和さんも出席し、犯人に仕立てられた経過や取調べ中での執拗な自白の強要等を語った。

## 過酷な取調べと自白による冤罪

### 取調べの可視化が求められる！

足利事件は90年5月パチンコ店から女児が行方不明になり、翌日、河川敷で遺体となって発見された事件だが、残された犯人のDNAと菅家さんのDNAが一致したとして警察は菅家さんを逮捕した。

DNAの再鑑定を行なったところ、DNA鑑定が違うことが分かった。その結果、菅家さんは釈放され、09年6月、再審が決定され、現在、再審が進行中だ。

1966年に静岡県清水市で起きた袴田事件も多くは、密室での過酷な取調べで「虚偽の自白」に追い込まれた事例が目立つ。

日弁連は「冤罪をなくすには取調べの可視化が必要だ」と訴えているが、検察側は、「可視化」すれば捜査に支障を来すとして抵抗している。

去る1月29日、民主党は「取調べの全面可視化を実現する議員連盟」を立ち上げ、取調べを全面可視化する法案の今国会での提出、成立を目指すとしている。密室での取調べは拷問にも似たやり方が未だに行なわれていると聞く、冤罪の温床をなくすには取調べの可視化は是非とも必要なことだ。

彼は過酷な取り調べにより一時犯行を自白したが、一審途中から無罪を主張した。しかし、DNAが動かぬ証拠として、2000年7月無期懲役が確定した。その後、再審請求により12時間を越える連日の厳しい取調べで虚偽の自白をしてしまった。

裁判が始まると自白を撤回し、無実を訴えたが1980年、最高裁で死刑判決が確定した。検察での自白による筋書きが一旦判決で認定されるとそれを覆すには大変な壁がある。

これまでの冤罪事件の多くは、密室での過酷な取調べで「虚偽の自白」に追い込まれた事例が目立つ。

日弁連は「冤罪をなくすには取調べの可視化が必要だ」と訴えているが、検察側は、「可視化」すれば捜査に支障を来すとして抵抗している。

去る1月29日、民主党は「取調べの全面可視化を実現する議員連盟」を立ち上げ、取調べを全面可視化する法案の今国会での提出、成立を目指すとしている。密室での取調べは拷問にも似たやり方が未だに行なわれていると聞く、冤罪の温床をなくすには取調べの可視化は是非とも必要なことだ。

# 1・30 辺野古 新基地建設を許さない全国集会

1月30日、東京日比谷公園で米軍普天間飛行場の即時閉鎖と名護市辺野古への移設に反対する「チェンジ！日米関係・普天間基地はいらない・辺野古新基地建設を許さない1・30全国集会」が開かれた。

静岡県からは平和センターの呼びかけで大型バス2台をチャーターし約80人が参加した。三島からの参加者は5名、朝10時半、沼津駅北口から東名高速で東京に向かった。

日比谷野外音楽堂は全国から集まった6千人を越える群集で埋め尽された。

1・30東京日比谷野音での集会

集会では普天間基地返還や辺野古への新基地建設反対、全国の米軍基地の縮小・撤去を求める決議を採択した。

名護市長選挙で当選した稲嶺進氏も新基地建設反対のメッセージを寄せ、「全国の皆さんと連帯し、新基地建設を許さない国民的機運を広げていこう」と呼び掛けた。また、政府与党から社民党の福島党首や重野幹事長、山内徳信参院議員、服部良一衆院議員のほか、民主党の斎藤勁衆院議員が参加した。

福島氏は「5月末に結論を出すまでの数カ月、こん身の力を込めて絶対に勝つ。普天間基地返還、そして辺野古沿岸部に海上基地をつくらせない、国外・県外移設へ、どんなことがあっても勝利する」と改めて強い決意を示した。

前岩国市長井原氏も登壇し、岩国米軍基地の現状と、岩国基地への空母艦載機移転問題などでも共闘するよう呼び掛けた。

集会に続くデモ行進は、日比谷公園から東京駅前を通り、常盤橋公園までの2・6キロ。一般の通行客で賑わう銀座の繁華街を歩き、市民に普天間撤去や日米安保見直しなどを訴えた。

# 三島市有地の宗教施設

### 最高裁の政教分離判決を受けて調査

1月20日、北海道砂川市の市有地を神社の敷地として、無償で町内会に提供するのは、憲法が定めた政教分離の原則に違反するとする最高裁判決が出された。この判決を受け全国の自治体では急きょこのような事例があるか否かを調べ始めた。

三島市では、7箇所が確認され、それらは市役所敷地内の福引稲荷、東本町の言いなり地蔵、観音堂、大中島町内の三石神社、加屋町の秋葉神社、東町の八幡神社、大場の鎮比稲荷などである。

現在の市役所敷地は、江戸末期、嘉永6年（1854年）、江川太郎左衛門の開いた農兵調練場があり、その守護神としてお稲荷さんが作られ、陣屋稲荷と呼ばれていたが、それが現在の福引稲荷といわれる。150年以上も昔の事である。農兵調練場の跡地は小学校となり、昭和10年頃まであったが移転した。その後、三島町の役場となり、お稲荷さんは現在まで維持されてきた。

市役所敷地内の福引稲荷

平成になり道路が拡張された時、福引稲荷は現在の場所に、西に5メートルくらい移動した。その時、石積は作り変えられたが、社はそのまま移転したとのこと。現在、近所の人達がボランティアで守り交代でお供え物を置いている。

役所の担当者は、お稲荷さんは素朴な民間信仰で政教分離とは直接関係ないのではと言っていた。

## 有象無象

▼一月末の新聞に、「建国記念日をお祝いしましょう」というチラシが折りこまれた。正確には、さる任意団体がチラシを折りこんだのだが、この傍線部の受身の助動詞「れる」は、よく言えば奥の深い悪く言えば主客が未分化で曖昧な日本語の例として興味深いものがある。

▼受身には、「雨に降られる」、「子供に泣かれる」など、他国語への翻訳がきわめて難しい用法があり、これは一般に『迷惑の受身』と言われている。この「一般に言われている」も実は、主語をぼかしておいて、さも動かしがたい真実が語られているかのように思わせる怪しさがほの見えて、こちらは『風評の受身』と言ってもいいだろう。

▼さて、チラシの裏面には、伊勢神宮の「天照大御神をおまつり申し上げる内宮は、皇室の御祖先神として尊ばれ、また、国民の総氏神として仰がれています。」と、主語のない二文に「れる」がさりげなく置かれている。

▼天照大御神を皇室の祖先神として皇室関係者が尊ぶのは分かるとしても、『国民の総氏神』として仰いでいるのは誰か。皇室関連者が仰いでいるわけではなかろう。それに「国民の総氏神」は、全国の神社が国家神道の下で序列化され国家管理されていたときの話だ。

▼主語が隠された受身は怖い。個人を超えた圧倒的な自然現象か何かのように目眩まされてしまう。こういうのは『迷惑風評の受身』とでも呼びたいものだ。

（晋二）

みしま市民新聞
編集人　堀　考信
三島市徳倉813−3
サンヴェール三島506号
TEL&FAX　055-988-1926
Mail:wsigdx@mail.goo.ne.jp
URL: http://msmcit.ddo.jp/yh/
発行部数：１５００部

陶
ちゃわんや
新・古美術
炉端庵
TEL:055-972-4213
携帯 080-6960-5200

シザーカット専門店
びようしつ　みゆき
営業時間：9:00~18:00
定休日：水・第三日曜日
〒411-0833
三島市中123−12
TEL:055-972-6808

フリー・マーケット
毎月 第1、第3土曜日
10:00~15:00頃まで
新鮮野菜、干物、衣類…etc
低価格で提供、価格応談
徳倉2丁目2−30
連絡先：988−1651

カジュアルファッション
アメリカ屋
ボーイズ・レディーズ
大社前西角　電話:975-2885

軽食&喫茶（11:30~14:30）
スナック（18:00~23:00）
レインボー
三島田町駅前
（昼）定食800円、珈琲付き
レインボーカレー700円
焼きそば500円
トースト・サラダ・珈琲600円
電話：055-972-0005

ビーズジュエリー制作・販売
Beads Branch375
お手持ちの服に合わせて
あなただけのアクセサリーを作りませんか？
〒411-0044
三島市徳倉876−64
Tel&Fax:055-988-1691　内田まで
お気軽にお電話ください